

日本サウンドスケープ協会

第26回（2018年度）通常総会・第1回理事会

日 時：2018年5月19日（土）12:45～13:45

会 場：同志社大学寒梅館・地下A会議室

-----【議 案】-----

●第1号議案 2017年度事業報告および決算

2017年度事業報告案 [資料1]

2017年度決算案 [資料2]

2017年度監査報告 [資料3]

●第2号議案 2018年度事業計画および予算

2018年度活動方針ならびに事業計画案 [資料4]

2018年度予算案 [資料5]

[資料1] 2017年度事業報告案

1. 2017年度会員状況 (※下線部上の数字が2017年度の会員数)

総会員数 154名(2016年度:165名/2018年度暫定数153名)

内訳

一般会員139名(2016年度:148名/2018年度暫定136名)

9名減:入会4名、退会13名、一般会員から学生会員への変更0名

学生会員名11名(2016年度:12名/2018年度暫定13名)

1名減:入会1名、退会2名、学生会員から一般会員への変更0名

賛助会員 0団体(0団体)

団体会員 4団体(2016年度:5団体/2018年度暫定4団体)

1団体減:入会0団体、退会1団体

※会員数は2018年5月15日現在の情報で算出。

()内の会員数は2016年度の会員数/2018年5月15日現在の申請者数(未納者含む)

2. 総会・シンポジウムの開催

・総会(主担当:活動推進委員会)

日時:2017年5月20日(土)13:00-14:00

会場:岩手県公会堂 21号室

・シンポジウム(主担当:企画運営委員会)

タイトル「いわてのサウンドスケープ」

日時:2017年5月20日(土)15:00-17:30

会場:岩手県公会堂 21号室

参加者概数:58名(会員23名,一般25名※,学生10名)※交流会のみ・登壇者・メディア含む

○第1部 誰かに聴かせたい”いわての音風景”紹介

○第2部 講演:匠が語る いわてのサウンドスケープ

「南部鉄器とサウンドスケープ」田山貴紘氏(タヤマスタジオ株式会社代表取締役)

「ホームスピンの匠が感じるサウンドスケープ」舞良雅子氏(染織作家)

「南部杜氏が語る酒造りのサウンドスケープ」久慈浩介氏(株式会社南部美人 五代目蔵元代表取締役社長)

○第3部 パネルディスカッション

久慈浩介氏×舞良雅子氏×田山貴紘氏×木村直弘(岩手大学人文社会科学部教授)

コーディネーター:船場ひさお(岩手大学COC推進室特任准教授)

3. 例会の開催

下記の通り、1回実施した。

(1) 「秋を聴く-金沢・寺町あたりで耳を澄まして-

日時：2017年10月28日(土)10:30-15:30

会場：ゲストハウス「てらまちや風心庵」及び市内寺町周辺地域

参加者数：会員0名 一般10名 計10名

企画：土田義郎（金沢工業大学）・白木裕也（金沢美術工芸大学修士2年）

共催：日本サウンドスケープ協会

4. 研究発表会の開催

・春季研究発表会

日時：2017年5月21日(日)9:30~12:30

会場：岩手大学復興祈念銀河ホール（上田キャンパス理工学部内）

内容：一般報告2件、シートトークセッション5件

参加者：21名（会員20名，一般1名）

実行委員会：上野正章（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター・実行委員長）

船場ひさお（岩手大学） 木村直弘（岩手大学） 箕浦一哉（山梨県立大学）

・公開研究会「サウンドスケープが拓く研究の地平」

日時：2017年12月16日(土)13:30~16:30

会場：青山学院大学・総研ビル10階第18会議室

内容：話題提供6件と自由討論

参加者：14名（会員限定で実施）

実行委員会：箕浦一哉（山梨県立大学） 上野正章（京都市芸術大学） 鳥越けい子（青山学院大学）

5. 共同研究プロジェクトの開催

研究会を1回開催した。

- ・第1回：2017年3月19日(月)13:00~17:00, 「サロン・ドゥ・螺」（大阪市中央区）にて，4名参加

6. 研究会（ワーキング・グループ）活動・震災プロジェクトへの助成等

ワーキング・グループ（WG）およびプロジェクトに対し下記のとおり助成をおこなった。
助成申請のあったWGに対し活動経費のうち3万円程度を上限に助成をおこなうもの。
プロジェクトについては、5万円程度を上限に経費支給を継続している。

助成グループ名称	助成額	内容
震災プロジェクト	40,661円	交通費
自然の響きを聴く会WG	30,204円	交通費・文字起こし作業ほか
サウンドスケープ政策研究会WG	16,147円	アンケート調査通信費・宅配費
まち・音・ひと・ねっとWG	31,093円	交通費ほか

7. 広報活動ならびに関連事業として

- ・協会ウェブサイトの運営
ワーキング・グループの定義・活動紹介および設立申請・助成申請書のフォーマットを掲載
- ・各種メーリングリストの運営
- ・フェースブックの運営（一般公開用・会員専用）

8. 協会誌の発行

- ・『サウンドスケープ』第18巻の発行の準備をした。

9. その他

- ・第1回常務理事会

日時：2017年7月30日（日）14:00-17:00

会場：青山学院大学総合研究所ビル9階第15会議室

常務理事の出席：土田・柳沢・平松・船場・小菅・鳥越の6名出席 欠席：今田・箕浦

監事の出席：入江・沖山の2名の出席 事務局：鷺野

- ・第2回常務理事会

日時：2017年1月21日（日）15:00-18:00

会場：青山学院大学3号館4階・3407教室および常務理事ML

常務理事の出席：平松・鳥越・箕浦・土田・今田 欠席：柳沢・小菅・船場

監事の出席：なし 欠席：入江・沖山 事務局：鷺野

[資料2] 2017年度決算案 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
会費収入	988,000	900,000	-88,000	
一般会員	882,000	816,000	-66,000	136名分×6,000円(一般会員年会費・未払金の清算を含む延べ数)
学生会員	42,000	18,000	-24,000	6名分×3,000円(学生会員年会費・未払金の清算を含む延べ数)
賛助会員	-	0	0	
団体会員	24,000	24,000	0	4団体分×6,000円(団体会員年会費・未払金の清算含む延べ数)
JASE委員会	40,000	42,000	2,000	21名分×2,000円(JASE年会費・未払金の清算含む延べ数)
会費前受け金	-	0	0	
事業収入	3,000	15,000	12,000	
コンテンツ事業	-	0	0	
企画運営(例会)	-	0	0	
企画運営(シンポジウム)	-	15,000	15,000	一般参加者会費1,000円×15名
学術事業	3,000	0	-3,000	研究発表会資料代
協会誌編集				
JASE委員会	-	0	0	
活動推進				
ワーキンググループ	-	0	0	
企画運営	-	0	0	
雑収入	-	17,000	17,000	寄付(17,000円・平松幸三氏寄付の書籍売上)、利子(0円)
今年度収入合計	991,000	932,000	-59,000	
前年度繰越金	2,224,173	2,224,173	-	期首残高内訳:郵便口座2,112,996、銀行口座78,486、小口現金31,105、他1,586
収入合計	3,215,173	3,156,173	-59,000	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費	850,000	299,245	-550,755	
企画運営(シンポジウム)	100,000	83,898	-16,102	講師謝礼、アルバイト経費、講師・スタッフ飲食費、フライヤー印刷費
企画運営(例会)	120,000	22,489	-97,511	第1回例会「秋を聴く-金沢・寺町あたりで耳を澄まして-」10月28日実施
アーカイブ事業(記録・保存・編集)	100,000	65,570	-34,430	記録機材購入費(4月10日振込)
研究会:WG等への助成	200,000	118,105	-81,895	1)震災プロジェクト交通費 40,661円(3月23日振込)、2)自然の響きを聴く会 30,204円(3月27日振込)、3)サウンドスケープ政策研究会 16,147円(3月23日振込)、4)まち・音・ひと・ねっとWG 31,093円(3月23日振込)
協会誌編集	120,000	0	-120,000	編集・取材謝礼・デザイン外注費・製本費等
学術運営(研究発表会)	80,000	9,183	-70,817	春季研究発表会会場費:9,183円(4月10日振込)
学術運営(研究推進)	50,000	0	-50,000	サウンドスケープ研究の推進をおこなうための共同研究プロジェクトの会議費等の補助
活動推進:推進・広報	30,000	0	-30,000	協会活動の推進と情報発信のための経費 ※前年度より90,000円の減額
20周年展コンテンツ社会化	20,000	0	-20,000	20周年展コンテンツの書籍化等推進のための経費
国際委員会(WFAE会費)	30,000	0	-30,000	WFAE Affiliation Fee(振込手数料含む) ※未精算
管理費	385,000	324,989	-60,011	
事務局費	240,000	240,000	0	事務経費一式(2万円×12か月)
会議費	30,000	0	-30,000	常務理事会開催のための会場費等の費用
通信連絡費	60,000	53,670	-6,330	封筒印刷4,622円、理事選挙返信用封筒1,620円、出欠返信用ハガキ8,632円(52円×166通)、理事選挙信任投票用切手8,632円(52円×167枚)、お知らせ郵送料15,272円(92円×166通)、印刷費9,980円(10円×998刷)
ウェブサーバ費	30,000	26,999	-3,001	ウェブページサーバーレンタル料・ドメイン維持費用 26,999円(3月23日振込)
印刷費	10,000	0	-10,000	
雑費	15,000	4,320	-10,680	振込手数料4,320円:国内4,320円(864円×5回)・国際送金手数料 0円(WFAE年会費送金は年会費振込額に含む)
2017年度支出合計	1,235,000	624,234	-610,766	
次年度への繰越金額	1,980,173	2,531,939	551,766	期末残高内訳:郵便口座2,420,330、銀行口座78,486、小口現金31,537、その他1586
支出合計	3,215,173	3,156,173	-59,000	

[資料3] 監査意見

監査 意見書

2018年5月15日

日本サウンドスケープ協会
理事長 鳥越けい子 殿

日本サウンドスケープ協会「2017年度事業計画」ならびに「2017年度事業報告書(案)」および「2017年度予算」ならびに「決算書(案)」および「金融機関の取引一覧表」の情報に基づき、以下2017年度の日本サウンドスケープ協会の活動に対し、監査報告を申し上げます。会計は原則金融機関を通じて行われているなど、上記資料を総合的に勘案し、会計処理は概ね適切に行われていることを報告する。その上で、以下、事業運営についての意見・見解を申し上げます。

組織活動の効率化と活動の活性化を進めるために、2015年度より進めている組織改革により、例会やワーキング・グループの活動が活性化され、協会改革は一定の成果をあげつつあるといえる。

一方、協会収入の主な財源である会費収入について、徐々に減少の傾向がみられるが、これは滞納者の増加が主な原因である。また、退会手続をしない会員数を予算案に計上してきたため、予算と決算の間に収入の大幅な差が現れる状態から収支計画を立てにくい状態が継続していた。そこで、3か年度以上滞納した会員に対して、退会扱いとする処置を昨年度より続けていることで、現会員の納付率は大幅に改善され、予算と決算の収入差の縮小が認められようになった。

2017年度の支出については、積極的な活動を促す予算であったのに対し、その消化率は低く、年度単位で見ると活動が停滞したことが窺えるが、前年度に活動が集中したこともあり、その影響から低調となったとみることもできる。改革の成果を問うのは、次年度の活動状況をまっとう判断する必要があると思われる。

協会員による協会活動活性化のため、引き続き、さらに今年度は特に「25周年」を機に、執行部である常務理事会・各事業運営委員会、および理事会が一層協力をして、協会運営の方法を検討しつつ、その活動を牽引することを期待する。

以上

監事 入江和朗
監事 沖山文敏

※署名捺印は配布用資料では省略しています。

[資料4] 2018年度活動方針ならびに事業計画案

1. 2018年度活動方針

- 1) 全協会員のための研究活動の促進と環境整備
- 2) 協会資源（人的／物的）の発掘と活用
- 3) 協会活動の発信と運営基盤の強化

2. 総会・シンポジウムの開催

- ・総会（主担当：活動推進委員会）

日時：2018年5月19日（土）12:45-13:45

会場：同志社大学・寒梅館 地下A会議室

- ・シンポジウム（主担当：企画運営委員会）

タイトル「今、京都から再び」 総合司会：箕浦一哉（山梨県立大学国際政策学部教授）

日時：2018年5月19日（土）15:00-17:30

会場：同志社大学・寒梅館 地下A会議室

○挨拶 25周年を迎えて 鳥越けい子（理事長）

○第1部 講演：音響史の中のサウンドスケープ 平松幸三（京都大学名誉教授）

○第2部 講演会 モデレーター：平野砂峰旅（京都精華大学教授）

「音風景100選による都市再生」鳥越けい子（青山学院大学教授）安本義正（京都文教短期大学学長）

「京都の景観とサウンドスケープ」曾和治好（造園家・デザイナー）岩村謙次（京都市道路環境整備課）

「サウンドスケープはどこに向かうか」若尾裕（神戸大学名誉特任教授・広島大学名誉教授）

3. 例会の開催（主担当：企画運営委員会）

現状、2018年度の例会開催は未定。

4. 研究発表会の開催（主担当：学術事業運営委員会）

- ・春季研究発表会

日時：2018年5月20日（日）9:15-13:00

会場：同志社大学良心館 RY105 教室

実行委員会：箕浦一哉（山梨県立大学・実行委員長）

上野正章（京都市立芸術大学）、柳沢英輔（同志社大学）

- ・秋季研究発表会

日時：2018 年 12 月を予定 詳細未定

5. 広報活動ならびに関連事業（主担当：活動推進委員会）

- ・協会ウェブサイトのコンテンツ充実や Facebook 等に活用により基礎的な発信力強化をはかる。
- ・各種メーリングリストの運営
- ・サウンドスケープの社会化に向けて、協会員内外の交流会や研究会を企画・実施する。

6. 研究会活動への助成と活動の公開（主担当：研究会）

- ・サウンドスケープに関する活動を推進するため、ワーキング・グループには3万円程度、震災プロジェクトには5万円程度を上限に助成する。なお、助成するグループの採択や実際の助成額は、予算を勘案しながら常務理事会でおこなう。
- ・ワーキング・グループやプロジェクトの活動を会員内外に広く発信するため、ウェブページへの一覧と紹介文の掲載をおこなう。
- ・2018年度は以下の申請があり、助成は常務理事会の審議により採択される。

助成申請のあったグループ名称
1) サウンド・エデュケーション WG（代表：神林哲平）
2) サウンドスケープ・デザイン・ラボ WG（代表：鷺野宏）
3) 自然の響きを聴く会 WG（代表：大庭照代・兼古勝史）
4) まち・音・ひと・ねっと WG（代表：小菅由加里）

7. 記録整備（主担当：コンテンツ事業運営委員会／活動推進委員会／各実行委員会）

- ・協会活動アーカイブの整備・公開の推進

8. 20周年展コンテンツ書籍化事業（主担当：20周年展コンテンツ社会化プロジェクト）

- ・20周年展でのコンテンツの書籍化等に向けたプロジェクトを立ち上げ、活動を開始。

9. 協会誌の発行（主担当：協会誌編集委員会、学術事業運営委員会）

- ・年度内1～2回の発行の予定

10. 国内外の団体との連携・交流

- ・協会主催企画や国際委員会等を通じて内外団体との連携・交流を進める。

11. サウンドスケープ研究の推進（主担当：学術事業運営委員会）

- ・サウンドスケープ研究の推進をおこなう共同研究プロジェクトのために会議費等の補助をおこなう。

12. その他

- ・常務理事会は3回程度を予定

[資料5] 2018年度予算案 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

収入の部		(単位:円)	
科目	予算額	内訳	備考
会費収入	921,000		
一般会員		816,000	136名分×6000円 ※5月15日現在の暫定数
学生会員		39,000	13名分×3000円
賛助会員		0	
団体会員		24,000	4団体分×6000円
JASE委員会		42,000	21名分×2000円
会費前受け金		0	
事業収入	-		
コンテンツ事業	-	0	
企画運営(例会)	-	0	
企画運営(シンポジウム)	-	0	
学術事業		0	研究発表会資料代 ※前年度実績
協会誌編集		0	バックナンバー販売 ※前年度実績
国際委員会	-	0	
活動推進		0	
ワーキンググループ	-	0	
企画運営	-	0	
雑収入	0		利子 ※前年度実績
今年度収入合計	921,000	921,000	
前年度繰越金	2,554,428		期首残高内訳:郵便口座2,442,819円、銀行口座78,486円、小口現金31,537円、他1,586円
収入合計	3,475,428		

支出の部			
科目	予算額	支出額	備考
事業費	850,000		
企画運営(シンポジウム)		100,000	講師謝礼、講師交通費、総会アルバイト、フライヤー・案内版印刷加工費、記録・文字起こし費等シンポジウム開催・記録経費
企画運営(例会)		120,000	会場、謝礼、アルバイト、記録・文字起こし等例会開催・記録経費(60,000円程度×2回想定)
アーカイブ事業(記録・保存・発信)		100,000	記録・保存・編集費 ※前年度より30,000円の増額
研究会(WG等への助成)		170,000	ワーキング・グループへの補助(30,000×4件)、震災プロジェクト(50,000×1件) ※30,000の減額
協会誌編集		120,000	編集、取材謝礼、デザイン外注費、製本費等
学術事業(研究発表会)		80,000	研究発表会経費(会場費、資料作成費、アルバイト費、記録・文字起こし費)
学術事業(研究推進)		50,000	サウンドスケープ研究の推進をおこなうための共同研究プロジェクトの会議費等の補助
活動推進(推進・広報)		30,000	協会活動の推進と情報発信のための経費
20周年展コンテンツ社会化		20,000	20周年展コンテンツの書籍化等推進のための経費
国際委員会		60,000	JASE会費(振込手数料込) ※2年分
管理費	345,000		※40,000円の減額
事務局費		240,000	事務経費(2万円×12か月)
会議費		15,000	常務理事会開催のための会場費等の費用
通信連絡費		40,000	2018年度総会等案内郵送費、返信用通信費、運搬費等(印刷費込)
ウェブサーバ費		30,000	ウェブページサーバ費、ドメイン維持費等
印刷費		10,000	会議資料印刷等(10円×1000面)
雑費		10,000	振込手数料等
2018年度支出合計	1,195,000	1,195,000	
次年度への繰越金額	2,280,428		
支出合計	3,475,428		